LION news

2021/3/9
第1457回例会

第1456回 通常例会

2月24日(水)「金沢ニューグランドホテル」にて通常例会が開催されました。

会長挨拶では、桑島会長より「本日は選挙例会となります。オリンピック組織委員会会長人事では透明性が話題となりましたが、当クラブの会長人選のプロセスを勉強して頂きたいと感じました。いずれにしても納得性を確保することが大切だと思います。去年中山L.がスピーチでお話しした『人事は“で”ではなく“が”でいかないといけない』という言葉が蘇りましたが、当クラブ会長選挙は“が”で決まったと理解しております。次にアラート基金についての報告があります。①基金のお金の繰り入れについては、本会計の決算時の余剰金の一部を繰り入れる。②使用方法については、５年ほど試行錯誤しその後に実績を考慮しルールを確定する。③基金の残高については、出し入れ実績の状況をみて調整していく。以上３点が決定しましたのでご報告いたします。最後になりますが、先日腹痛と下痢発熱があり、医療センターで食あたりと診断されましたが、ＰＣＲ検査をすることになりドキッとしました。結果が出るまでの２時間、もし陽性だったら・・・色々真剣に悩みましたが結果は陰性で安心しました。ＰＣＲ検査が陰性でもその一時だけであり、安心材料とはいえないこと、陽性になった人に対する差別等は決してしてはいけない、その上で検査結果は全てオープンにすることが大事という事を、結果待ちの２時間に思いました。ちなみに、ＰＣＲ検査料は1,500円でした。」とご挨拶いただきました。

《次期役員選挙》

会員委員会副委員長若林佳生L.より次期役員についての説明、案が提出され一括承認されました。引き続き次期会長堀岡昭夫L.より、次期理事メンバーを代表しご挨拶をいただきました。

《メンバースピーチ》

本日のメンバースピーチは齋藤文博L.です。『136年の歩み』と題して、スピーチをいただきました。

「河上金物㈱は明治18年に富山市西町に誕生しました。初代が高岡の金物屋に13年間奉公した後に暖簾分けしたのが始まりです。昭和39年には本社ビルを建設。昭和48年には創業地にリビングショップを作り上層階を富山大和に貸していました。昭和51年に現在の野々市市に金沢支店を開設し、4代目社長就任時には、私の父、文美雄が副社長として共に盛り上げ、昭和60年に創業100周年を迎えました。当社はＹＫＫとの関係が深くその考え方に基づいた鋼矢板自動洗浄機を設計運用しています。平成22年に125周年を迎え、業績としては、過去には佐藤工業の倒産などの影響で辛い時期もありましたが、ここ数年は新幹線関係の工事で非常に忙しく、富山駅、旧富山大和跡のビル建設などにも携わっています。現在は5代目社長への継承の為に①顧客②市場③社会④社員、パートナーとの会話を重視する方針で進めています。最後になりますが、3月末で河上金物㈱を辞め、子会社のエコジャパン㈱を担当することになります。皆様とは引き続きお付き合いさせていただきますので、今後ともよろしくお願い致します。」とスピーチがありました。

最後に、副テールツイスター長基健司L.が登場し、今後の新型コロナワクチンの接種状況と県内のドラッグストア業界の現状と自社の今後の方向性をお話しいただいた後、ドネーションを発表し例会は終了しました。

（記事：計画委員会）

編集後記　一年間よろしくお願い致します。（担当、L. 浅野雅幸）